

# 株式会社出水商店

## 42期 環境経営レポート

(対象期間: 2020年7月1日 ~ 2021年6月30日 )



私たちは、地域と  
地球の環境に配慮した  
事業者です



エコアクション21

® 環境省



ACCREDITED®  
MSCB-113



GIJP-0172-QC  
ISO 9001:2015



作成日 : 2021年6月30日  
更新日 : 2020年7月1日

<経営理念>

- 1.常に新しいリサイクル技術を研究し、自然環境を守っていきます。
- 2.お客様の要望と、市場の動向を注視し最適な商品を提案しま

## 環境経営方針

PVCのリサイクルを行う企業として、

環境関連法規制等を遵守し、  
二酸化炭素排出量と廃棄物の削減に努めます。

冷却水の循環により水使用量を減らし、  
グリーン調達を心がけ、  
限りある資源を大切にします。

環境に優しい製品作りを行い、  
地域の環境に負担をかけないようにします。

これらの実現に向けて継続的改善を図ってまいります。

制定日：2014年10月4日

改定日：2020年7月1日

代表取締役社長 出水恭平



引き取ってきた状態



粉碎した状態



ペレット

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社出水商店  
代表取締役社長 出水 蒸平

(2) 所在地

本社 大阪府門真市五月田町10番20号  
原料置場 大阪府門真市五月田町12番1号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 興津 成吾  
担当者 出水 美映 TEL : 072-882-2365

(4) 事業内容

軟質塩化ビニールの再生加工  
主要製品：軟質塩化ビニールペレット・ポリエチレンペレット

(5) 事業の規模

法人設立 昭和55年1月5日  
資本金 1,000万円  
製品出荷額 0.8 億円  
主要製品生産量 1,200 トン

	本社	原料置場	合計
従業員	9	0	9
延べ床面積	523	150	673

引取量 1,320 t  
再資源化量 1,312 t

(6) 事業年度 7月1日～翌年6月30日

□認証・登録の対象組織・活動

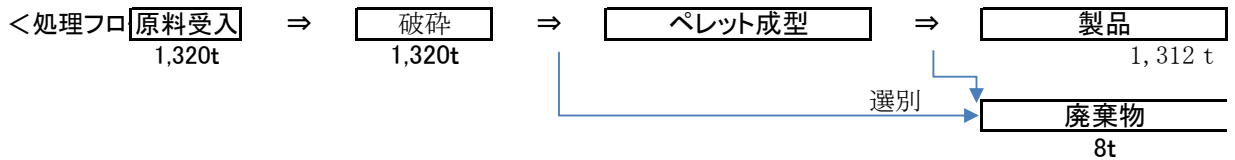
登録事業者名： 株式会社出水商店  
対象事業所： 本社  
原料置場

対象外： なし

活動： 軟質塩化ビニールの再生加工

□処理施設・処理フロー

<処理施設 破砕機 2基  
押出成型 2基  
油圧切断 2基  
タンブラー 1基  
7tトラック 2台



□主要設備

破碎機(ギロチン式)



破碎機(ハンマー式)



押出成型機



ペレット成型機



材料置き場

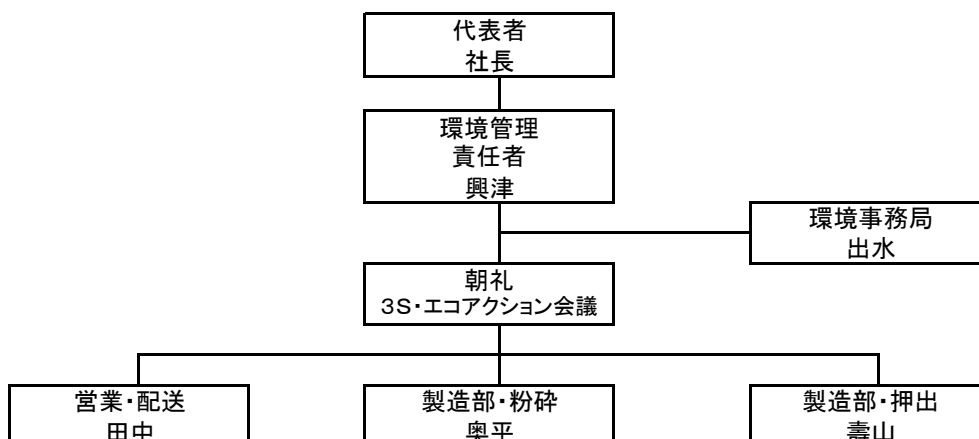


パレティーナとフレコン



## ■実施体制図及び役割・責任・権限表

更新日：2018年8月23日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境目標・環境活動計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者 (興津)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境目標・環境活動計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境活動レポートの確認</li> </ul>
環境事務局 (奥平)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、朝礼3S・エコアクション会議の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境目標、環境活動計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
朝礼3S・エコアクション (全従業員が順番に)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境活動計画の審議</li> <li>環境活動実績の確認・評価</li> <li>自部門における環境方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> <li>改善提案を積極的に行う</li> </ul>

## □主な環境負荷の実績

項目	単位	40期	41期	42期
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	292,619	248,119	232,015
廃棄物排出量	kg	13,805	37,024	15,688
一般廃棄物排出量	kg	85	84	78
産業廃棄物排出量	kg	13,720	36,940	15,610
総排水量	m <sup>3</sup>	425	352	336

※電力の二酸化炭素排出量換算係数 0.490 kg-CO<sub>2</sub>/kWh

## □環境経営目標及びその実績

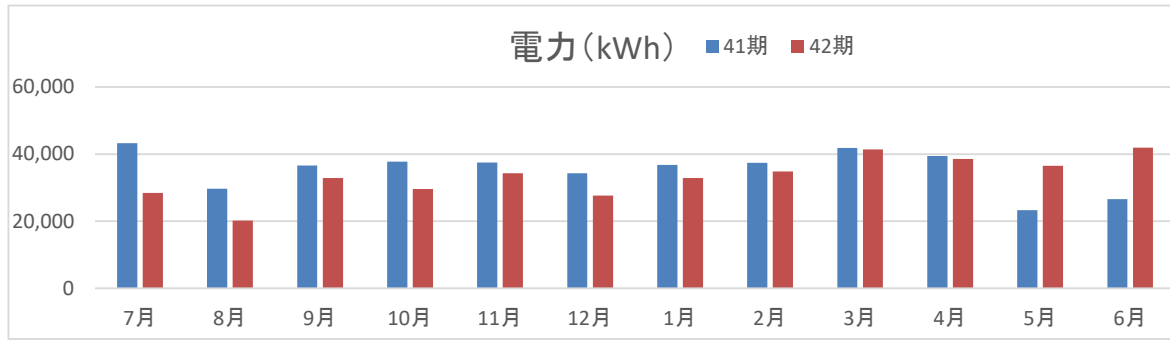
項目	年度	41期 (基準年)	42期		達成率 %	43期 (目標)	44期 (目標)
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	207,969	191,331	195,539	98%	187,172	187,172
	基準年比		92%	94%		90%	90%
原単位	kg-CO <sub>2</sub> /t	158	146	163	89%	143	143
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	34,552	25,569	35,719	72%	30,406	30,406
	基準年比		74%	103%		88%	88%
上記二酸化炭素排出	kg-CO <sub>2</sub>	242,521	216,900	231,258		217,578	217,578
一般廃棄物の削減	kg	77	73	78	94%	70	69
	基準年比		95%	101%		91%	90%
廃プラWaste plasticの削減	kg	10,530	9,477	15,610	61%	8,424	8,424
	基準年比		90%	148%		80%	80%
水道水の削減	m <sup>3</sup>	425	340	336	101%	319	319
	基準年比		80%	79%		75%	75%
グリーン調達の推進		行動目標					
再生PVCの生産量拡大	ton	1,312	1,378	1,200	87%	1,444	1,575
	基準年比		105%	91%		110%	120%

## □環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標: ○達成 ×未達成

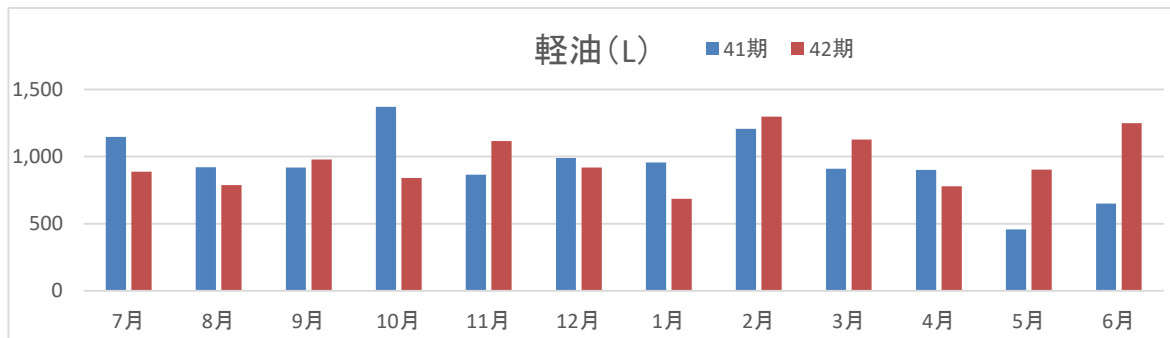
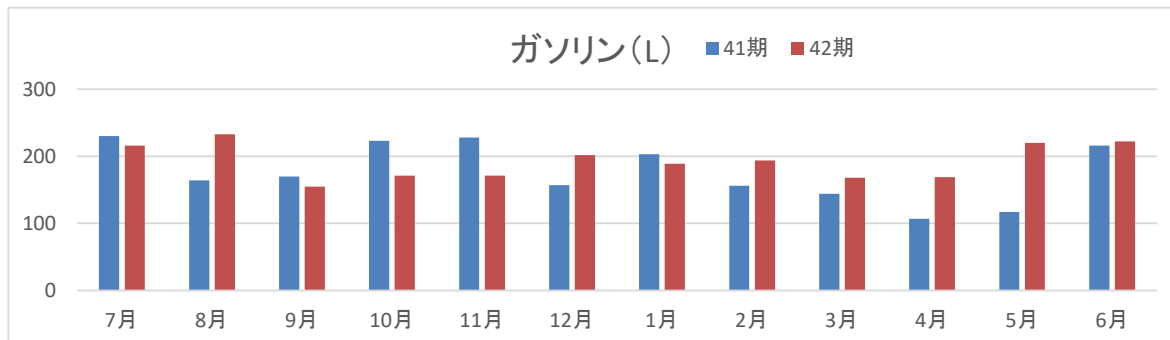
活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の計画
<b>電力による二酸化炭素削減</b>		
数値目標	×	年間を通してコロナ禍の影響が甚大で、イレギュラー対応になった。夏から秋にかけて生産量が20~30%減となり、ようやく今年に2月に入ってから、毎月のPVCの生産量が100トンを超えるようになって来た。100トン未満の月はどうしても短時間のための稼働のため、生産量原単位の評価が低くなってしまいうのは残念であった。特に7月から1月までの間が超過している。
工程間の待ち時間の削減	△	
予熱時間適正化による余熱のエネルギー削減	○	
工程の見直しによる設備の省略	△	
照明は、昼休み残業時等、不必要なものは消灯する	○	



#### 自動車燃料による二酸化炭素削減

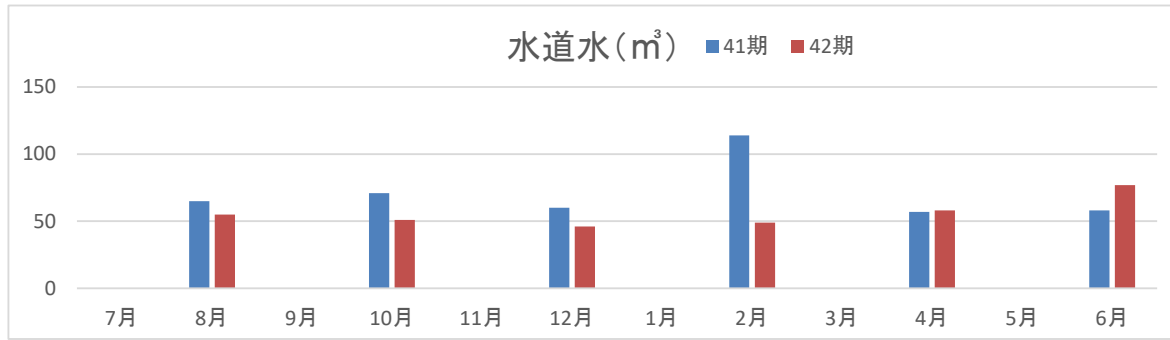
数値目標	達成状況	備考
・アイドリングストップ	×	今期はコロナ禍の影響で思い通りにCO2削減を行う事が難しい。秋から冬にかけて去年と比べ原油安になっており、軽油の単価も下落傾向にあるが、取引先や弊社の生産量が減っている為、トラック1台で積載する製品やスクラップの量が減っているため、CO2削減の実績が出ていない。
・効率的なルートでの納品・引取り	○	
・エリア別営業活動の見直し	○	
・帰り荷便を使い材料・製品を運ぶ	△	
	△	



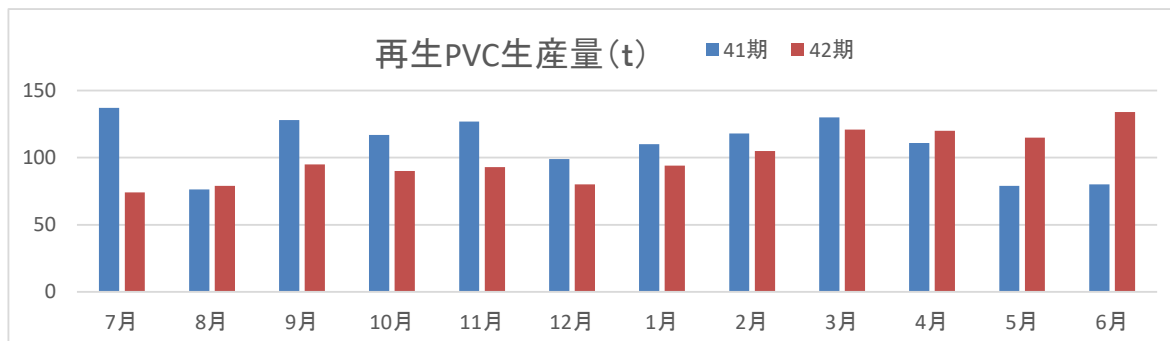
一般廃棄物の削減		
数値目標	×	ペーパーレスがかなり進んでいる（コピー紙の量は半分ぐらい）が、モノによってはファイリングのためにプリントしてしまう事が有るので、ファイルの名前の付け方に工夫するなどして、もう一工夫していきたい。 一般ゴミは、4種類に分別。金属ゴミは有価で処分するように心がける。新しい複合機が来てからFAXはPDFで保管し、必要なものだけプリントしているが、今後PDFなどのデータのクラウド上の保管場所を分かり易くして、紙での保管を減らして行く。
・分別の徹底	△	
・帳票見直しによる印刷物削減（ペー	○	
廃プラWaste plasticの削減		
数値目標	×	今期は、コロナ禍で仕入れ量が減って来ているので、普段の仕入れ分からは産廃処分する量も減ってきた。ただし元々会社で保管していた死蔵品を産廃にしたので、今期は例年より増える傾向にある。 排出先に分別を徹底してもらい、会社に廃棄物が入荷しないようにする。分別が守られていない会社には、異物混入のレ
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・素材別ボックスの設置	○	
・リサイクル業者の開拓	○	
・産廃で出していた分を再利用する。	△	
水道水の削減		
数値目標	○	基準年で73%、前年比で91%とまずまずの成績だった。今回は、配管の破損や、クーリングタワーからのヘドロによる水
・配管とポンプを確認し、漏水がない	○	

・生産時の使用水量の削減	○	漏れを事前に予防していたので、ロスが減少した1年だった。以前は、古い配管からの漏水やクーリングタワーやタンクが目詰まりによる漏水があったが、半年に1回のペースで配管の点検とタワー・タンクの清掃を行っているので、想定外の漏
・冷却水の循環リサイクル	○	





再生PVCの生産量拡大		
数値目標	×	生産量は伸びていないが、仕入れ価格はこの不況下の為、50～70%ほど下落してきたので、生産量が20～25%ほど下落しても損益分岐点が下がり、何とか利益が出せる体質になってきた。 今期は途中からコロナ・ウイルスの影響で、生産量が落ちてきたので、売上実績が伸びていない。
・リサイクルの材料であることをア	○	
・再生資源の利用	○	
・ホームページ、DM等で自社をアピー	○	



社会貢献		
・会社周辺の清掃活動	○	工場の前の道は、終業時に10分程度掃除している。(週3～5回程度)

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無**  
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラ、廃パレット等)
大気汚染防止法(大阪府条)	集塵機
NOx・PM法	7トントラック2台
フロン排出抑制法	スポットクーラー
消防法(危険物)	指定可燃物


遵守評価の結果、環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘および訴訟は、過去3年間ありません。

**□緊急事態対応訓練**

緊急事態の想定： 火災	
■実施日：2021年3月11日	■実施場)工場 2階
■参加者：社長、日向、奥平、米澤、木下、田中、壽山、興津	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
<b>■評価：</b> 各階にある消火器火器の設置場所と避難経路を全員で再確認した。事務所も含め直接火を扱う事はないが、塩ビの粉塵が多く発生するので、漏電し易い環境にある為、この後各フロアのコンセントを清掃し、利用していないコンセントには、カバーを取り付けた。	
<b>■実施状況の様子</b>	
	

**□代表者による全体の評価と見直し・指示**

実施日： 2021年4月10日

【前回の指示への取組結果】		ガソリン、軽油は価格の低下を加味しても、配送ルートの見直し等によりCO2の削減に	
(社会的情勢、利害関係者の要求等)		<見直し・指示>	
◇自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等) EUのRoHS指令など、化学物質に関する環境規制が世界的に厳しくなっており、弊社のリサイクル事業に関しては、電線のPVCを利用しているため、今後も様々な面で規制が強化される可能性が高く、上手く順応出来る様に会社の体質を変えなければいけない。		◇環境方針 2014.11.14改定が最新版 特に変更はしない。	◇環境目標・活動計画 電力に関しては、2階の押出業務で電力の7割近くを消費している為、再度節電の工夫をしてCO2削減に努力する必要がある。ガソリン、軽油に関しては、今までのペースを維持して減量に努めたい。産業廃棄物に関しては、3S活動で去年は長期滞留在庫を大量に処分したため、一時的に増えていた。電力、ガソリン、軽油の消費削減は引き続き行うが、生産ライン、製造工程の見直しを図り産業廃棄物の削減を第一の目標としたい。
◇環境目標・活動計画の達成状況 エネルギーの使用量が分野によりばらつきがあり、電力は、フォークリフトの充電で少し使用量が増えているが、他の分野は大分改善されて来ていると考える。		◇その他 環境管理責任者の交代。(同友会研修に参加させたいが人手不足の為、様子見み)	
◇その他 以前からPVCの鉛フリーの製品を強く要望されていたが、去年辺りからRoHS2対応も要望されるようになり、半分の生産ラインで製造出来る環境が出来た。			
【今回の評価結果と今後の経営視点】			
電力に関しては、製品1トン当たりの必要電力が、35.2Kwから31.1Kwに減り(94%)デマンド値はコンスタントに下げている。電気を使う作業工程についてはまだまだ改善する要素が残っている(特に2階の押し機周辺の工程)ので、来期に向けて頑張っていきたい。ガソリン・軽油は前年より石油製品の価格の上昇(104%)により良い結果が出せていない。水道の使用量に関しては予想以上(26%減)に良い結果が出たので、来期は今期のペースを維持するのは、難しいかも知れないが、切り口を変えてアプローチしたい。産業廃棄物に関しては、3S活動を並行して行っている為、工場内の滞留在庫を処分しているが、大分片付いたので、今後はあまり増えないと考える。エコアクションも4年目となり、今後どの分野を重点的に力を入れると効率的にCO2を削減できるのか、展望が開けてきたように思える。			

## □環境活動の紹介

3S活動をすることにより、安全性、効率性、快適性に配慮した、より良い職場づくりを目指しています。

